

学校だより



令和7年1月号

吹田市立山手小学校

人を笑顔にするあいさつができる、すてきな山手小



あけまして おめでとうございます



山手小 山手小ブロ

校長 佐々木 康雄

新しい年がスタートしました。保護者、地域の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。昨年は能登地震や飛行機事故などがありましたが、今年是比较的落ち着いて過ごされた方も多いかと思います。しかしながら世界に目を向けると戦争や紛争などなかなか収まりませんが、平和な世の中になることを願って、みんなで前向きにがんばっていったらよいと思っております。

さて私は年末年始にさまざまなスポーツをテレビで観戦しました。その中でも陸上、駅伝は毎年欠かさず力を入れて見ていますが、箱根駅伝は今年も見ごたえがありましたね。結果は青山学院大が大会新記録で総合優勝を果たしました。大学駅伝 3 冠を狙った国学院大や復路優勝の駒沢大学も少し及びませんでした。山を制する者は箱根を制すの格言にもあるように箱根の上り下り 5 区・6 区に対応が差を分けました。高低差 800 m を超える上りのコースに対応するために、筋力をつけ特殊なトレーニングをするので、“山は走れるけど平地は全く走れなくなる” そうです。そのぐらい覚悟をもって本番に合わせてきた選手の凄さと、青学の選手層の厚さが勝敗を分けたと感じました。参加した 20 校と学連選抜を合わせて 336 人の登録メンバー、またメンバーから外れたけれども頑張った各校の選手たち、他にも関係したすべての方々の熱い思いが合わさって、今年もいい大会だったなあと感じています。これらを基に山手の子どもたちには、①努力を続けていくことの大事さ、②ここぞというときに自分の力を精一杯出せること、の 2 点を感じてがんばってもらえたらうれしいです。努力を地道に続けることは、自分の力を高めるために大事だということと、その自分の力を出すためには日頃の準備が必要だと感じてもらいたいです。これらを日頃の学校で学習したり、生活したりする上でも学んでいってほしいと思います。

本年もインフルエンザや感染症等の影響がある中ですが、対策を行いながら学校教育活動を進めていきたいと考えます。子どもたちの健やかな成長のために、教職員一同力を合わせて取り組んでまいります。保護者、地域の方々のご理解、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



新年を迎え、子どもたちの元気な姿が学校に戻ってきました。子どもたちは年末年始、楽しい思い出ができたでしょうか。

風邪やインフルエンザの流行も気になる季節です。手洗いうがい徹底し、元気に3学期を過ごしてほしいものです。

お知らせ

6年制服採寸について

豊津中学校の制服採寸が中学校の体育館で行われます。日時は、1月12日（日）9時～12時になります。必要な方はご予約ください。また同日、体操服の申し込みも行われます。

なお、ご来校の際は上履きをご持参のうえ、徒歩でお願いします。

3年クラブ見学について

1月27日（月）、月に1回行われている課内クラブを3年生が見学します。課内クラブが始まる4年生に向けて、どんなクラブがあるのかを知る機会となります。それに伴い、この日は短縮時程（1・2年は14時10分頃、3～6年は15時15分頃下校予定）となっております。ご了承ください。

2月の主な行事予定

- 3日（月） 教育相談 あおぞら個人懇談③
- 4日（火） 全校集会 あおぞら個人懇談④
- 5日（水） 児童委員会
- 6日（木） あおぞら個人懇談⑤
- 7日（金） 2年国際理解授業
オンライン国際クラブ
あおぞら個人懇談⑥
- 10日（月） 教育相談 あおぞら個人懇談⑦
6年豊中ウォッチング
新1年生入学説明会（体育館 10時）
- 12日（水） Jアラート 3年研究授業
- 13日（木） のびのびタイム
- 14日（金） 4時間授業
- 17日（月） 教育相談 あおぞら個人懇談⑧
- 18日（火） 図工展 児童集会
1年：短縮5時間授業
2～6年：短縮6時間授業
- 19日（水） 図工展 4時間授業 太陽の広場
- 20日（木） 2・3・5年参観・懇談 図工展
- 21日（金） 1・4・6年参観・懇談 図工展
- 24日（月） 振替休日
- 26日（水） クラブ

1月行事予定

日	曜	学校行事
1	水	元旦
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	仕事始め
7	火	ICT
8	水	始業式 特別時程(11:30頃下校)
9	木	給食開始二測定(6年)
10	金	AET ICT二測定(5年)
11	土	
12	日	豊津中学校制服採寸(9:00-12:00)
13	月	成人の日
14	火	全校集会 ICT二測定(4年)
15	水	児童委員会 6年薬物乱用防止教室
16	木	3年博物館見学二測定(2年)
17	金	AET ICT お話の会(1年5時間目) 地震避難訓練 居住地交流(3-2)二測定(3年)
18	土	
19	日	
20	月	教育相談 地震避難訓練予備日二測定(1年)
21	火	児童集会 1年:短縮5時間授業、2-6年:短縮6時間授業 ICT
22	水	太陽の広場⑧ 4時間授業 5年2組:5時間授業(15時頃下校) 耐寒かけ足(2/7まで)
23	木	学力保障の日 のびのびタイム
24	金	AET ICT 居住地交流(3-1)
25	土	
26	日	関西大学クラブ体験
27	月	クラブ(3年見学) 短縮時程 あおぞら個人懇談① 豊津中AET 府SC 自活参観週間 教育相談
28	火	豊津中AET ICT あおぞら個人懇談②
29	水	豊津中AET 研究授業(2年1組 5時間目)4時間間授業(2年1組以外)
30	木	豊津中AET ICT 4時間授業
31	金	AET 豊津中AET ICT

いじめ予防プログラム「TRIPLE-CHANGE」

吹田市では、公益社団法人 子どもの発達科学研究所の協力のもと、「いじめ予防プログラム TRIPLE-CHANGE」に取り組んでいます。本校でも、毎年どの学年でも実施しています。

いじめかもしれない出来事が起きたとき、その被害者や目撃者がどのような行動を取ればいいのか、ということについて、既にいくつかの研究があり、その中から3つの行動を取り上げています。それが「や・は・た」です。いじめ対応の合い言葉「や・は・た」について詳しく学んでいます。

授業は次のような3つのステップで構成されています。

1st CHANGE:

シンキングエラーを正す



いじめとは何か、深刻ないじめになるのはどんなときか
確かめ、正しい行動について考えよう。

2nd CHANGE:

行動を起こす



いじめ被害を受けたときや、いじめがあることを知ったときに、どのような行動をとればよいかを確かめ、正しい行動について考えよう。

3rd CHANGE:

集団を変える



いじめのない集団(クラス・学校)を作るための
具体的行動を考えよう。

まず、「1st CHANGE」では、いじめとは何かという知識をきちんと確認し、いじめが深刻化するときに2つのキーワードについて学びます。

次に、「2nd CHANGE」では、いじめの被害を受けたとき、またはいじめかもしれないことを見たりきいたりしたときに、どのように助けを求めればよいのかについて学びます。

最後に、「3rd CHANGE」では、いじめのない集団(クラス・学校)を作るための HERO 行動について学びます。

【3rd CHANGE について】

「BE A HERO」に込められた^こ思い^{おも}

H Help
(ヘルプ)

ヒーローは、友達を **助ける** 勇気、助けを求める勇気を持ちます。

E Empathy
(エンパシー)

ヒーローは、相手の **気持ち** を考えます。

R Respect
(リスペクト)

ヒーローは、どんな相手も **大切に** します。

O Open-mind
(オープン・マインド)

ヒーローは、**心を開き**、みんなを受け入れます。

Help



助ける・助けを求める

- ◆ 友達が困っていたら、必ず声を掛けて助ける。
(助けるとき、誰かを傷つけないように)
- ◆ 自分が困ったとき、すぐに誰かに助けを求める。
- ◆ いじめかもしれないと思うような出来事があったら、すぐに大人に報告する。

Respect



相手を大切に

- ◆ 相手の気持ちを聞く。
- ◆ 何かを誰かに頼むときは、その人の気持ちを大切に
(無理にしない)。
- ◆ 誰に対してもやさしくする。(微笑良くなる)
- ◆ 今、誰かに対して悪いことをしたら、あやまって、すぐにその行動を止める。

Empathy



相手の気持ちを考える

- ◆ 悪口を言わない。
- ◆ 友達をあだ名で呼ばない。
- ◆ 悪い噂を止める。
- ◆ 相手の気持ちを考えて行動する。(誰かを傷つける行動はしない)
- ◆ 今、誰かを傷つける行動をしていたら、すぐに勇気を持ってやめる。

Open-mind



心を開く

- ◆ ひとりぼっちの友達に声を掛ける。
- ◆ ひとりぼっちを作らない
(グループ分けのときにひとりぼっちになりそうな友達を仲間に入れる)。
- ◆ 誰に対しても挨拶をしたり声を掛けたりする。

(保護者の方へ)

HERO行動 ～子どものよりよい未来のために～

「HERO行動」とは、「良い行動の基準」です。

Help (相手を)助ける、(誰かに)助けを求める、Empathy (相手に)共感する、Respect (相手を)尊重する、Open-mind広い心を持つ、の4つの行動にはそれぞれ意味があり、こうしたHERO行動をとることが、いじめの加害者や被害者になるリスクを減らすばかりか、いじめが起きにくい集団を作ることがこれまでの研究からわかっています。

考えてみれば、このHERO行動は、子どもたちが社会人として自立したとき、私たちの社会を構成する社会人として、とるべき行動、あるべき態度を示しています。

ご家庭でも、ぜひ、こうした正しい行動をとることの価値を伝えてください。例えば、子どもたちが友達との関係に困ったときなどに、一緒にHERO行動に立ち戻って判断をしましょう。親自身がHERO行動のお手本を見せることも大切です。こうしたことは、我が子を含んだ全ての子どもたちのよりよい未来につながります。